

電信通「手のひら焼き」

子供たち試食でPR

とかちむらでSaiの森

児童サービス「Saiの森」の子供たちが帯広競馬場内のかちむらで18日、12月に電信通り商店街に出店するテークアウト食

の販売店「手のひら(仮称)」で販売する「手のひら焼き」の試食提供を行った。

「手のひら」は障害者や高齢者の雇用の場をつくら

来場客に試食を提供する子供たち



うと、同商店街振興組合(長谷渉理事長)と児童サービス「Saiの森」などを運営する「花」、NPO十勝障がい者支援センター

が共同でオーブンを目指しており、道の地域商業活性化総合対策事業の補助金を受けている。

この日はデイスサービスを利用する子供3人がスタッフのサポートを受けながら、試食の提供やアンケートの配布、呼び込みなどを

担当した。来場客は試食しながら、子供たちの頑張り目を細めていた。

Saiの森施設長の久保梨佳さんは「外部の人に対して何かをするということの大切さを知ってもらえれ

(土屋航)